

たる♡はな物語

細かいこと聞かないで!

絵:くさか 里樹



解説 シナリオ:監修・永島 徹

サービスの利用は、本人はもちろん、家族にとっても不安や心配な気持ちでいっぱいになります。楽しんで利用して欲しい、出かけることで元気になる、期待が膨らむので、つい色々聞きたくなってしまうものです。しかし、慣れないところで緊張しながら過ごしてきた本人は、いつも以上に疲れてしまいます。そこにこの質問攻めは、本人の混乱を煽ってしまっただけです。何を言われているのか分からず、とにかく不快で「あたしはどこにも行かないよ!」という言葉になってしまったのです。何をしても、どこへ行ったとしても覚悟がつかない「記憶」に関することは家族が一番心配で確認したくなることもありません。でもそれは、本人にとっても何より不安なことなのです。確認を急がず、お茶を飲んで一休みしながら、「お母さん、今日はいつもよりハツツとして見えるよ!」などと声をかけると、「あら、そーう」とご本人のペースで話し始めてくれるかもしれません。

Vol.08 増える認知症 医療関係者の取り組み

2025年には、高齢者の4~5人に一人が認知症になると推計されています。認知症の人を支える「歯科医師」と「看護師」では、どのような取り組みを進めているのでしょうか。企画制作/下野新聞社 営業局



公益社団法人 栃木県看護協会 会長
あさの はるみ
朝野 春美さん

認知症患者の増加に伴い、急性期病院や内科、外科、整形外科、眼科など認知症専門病院以外の病院に入院する認知症の人数が増えています。本人に自覚がない軽度の認知症の人の対応や、受診拒否、検査拒否、服薬拒否などへの対応など、今後さらに難しくなることが予測されます。このような症状が異なる患者さん一人ひとりと直接接する看護師の役割は大きく、活躍がますます期待されています。「看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)は、人々が生活するあらゆる場、生まれるときから暮らしているまでの人生のあらゆる場面にかかわる専門職です。認知症の方、病気の人はもちろんですが、誰もがその人らしく生活できるように、看護の力を発揮して県民の皆さまの健康や幸せを願ひ、その役割を果たしています」と話す栃木県看護協会の朝野会長。

「認知症は、本人ではなく社会環境の問題です。例えば広い牧場の中を認知症の方が歩いていても何の問題もありませんが、狭い環境や理解のない社会の中では、本人らしく生活することが難しくなり、誰もが年輪を重ねていく中で、理解を深め、認知症になっても生活しやすい社会になることが理想的です。私たち看護職自身が理解を深め、

下野新聞 認知症カフェ プロジェクト2021



一般社団法人 栃木県歯科医師会 会長
あらい けんじ
赤沼 岩男さん

「食生活によって生きているのが生物の宿命です。認知症を発症したとしても、噛んで食べるという機能を維持することが全身の健康のためにも大切です。訪問歯科診療もぜひ利用してください」と話す赤沼会長。認知症予防の観点から「かかりつけ歯科医による定期健診を習慣づけ、クリーニングと口腔内の健康チェックで健康長寿を目指しましょう」と呼び掛けています。

がんばりまっわー!

上原チョーさんプロジェクトのキャラバン隊チョーに就任!

吉本興業所属、栃木県住みます芸人の上原チョーです。この度、下野新聞認知症カフェプロジェクト「トットーキャラバン」の隊長に就任しました。私は、吉本興業のお笑い介護士に所属しています。レクリエーション介護士2級の資格も取得し、県内をはじめ全国各地の介護施設などに「笑い元気」を届ける活動も実施しています。下野新聞認知症カフェトットーキャラバンは今後、県内の認知症カフェやイベントなどに伺う予定です。私の鉄板ギャグ「トットー」を取り入れた、オリジナルの「トットー体操」を皆さんと一緒に楽しく踊ればと思っています。応援よろしくお祈りしまっわー!!!

私たちは「下野新聞認知症カフェプロジェクト」を応援しています。

栃木県 一般社団法人 栃木県医師会 公益社団法人 認知症の人と家族の会 栃木県歯科医師会 Tochigiken-Dental Association 一般社団法人 栃木県薬剤師会 公益社団法人 栃木県看護協会

宇都宮支社

店医医療機関 応援介護老人福祉施設

宇都宮駅前比企クリニック 宇都宮第一病院 宇都宮リハビリテーション病院 皆藤病院 見龍堂医療福祉総合クリニック 見龍堂クリニックかわせみ 済生会宇都宮病院 長島医院 那須赤十字病院 那須南病院 沼尾病院 根本医院 橋本腎内科クリニック 村井クリニック 柳田医院 吉沢眼科医院 岡毛病院 デイホーム風のさんぽ道 グループホームかわせみ

※五十音順(医療機関、介護老人福祉施設の順)

とちぎ マルゴ健康 100

とちぎの皆様が 健康で100歳を迎えられるように。

それが私たち 宇都宮ヤクルトの願いです。

2週間 無料モニター 募集中

栃木県内の企業の皆様へ

対象

- 企業ごとのお申込となります。
- 企業内統一商品となります。

ご体験後にアンケートのご協力をお願い致します。

お申込期限 2021年 8月31日まで 火

お問合せ 宇都宮ヤクルト販売株式会社 栃木県宇都宮市瑞穂3-9-8

フリーダイヤル 0120-47-8960

受付時間 平日(月曜～金曜) 9:00～17:00

宇都宮ヤクルト 検索 URL https://www.u-yakult.com/

みんなで Let's Try! ウィズまごダンス

「ウィズまごダンス」は、介護予防(フレイル予防)を目的に、栃木県が考案したダンスです。最初はリズムカルな曲に合わせて体を動かしてみるだけでもOKです!おうちで一人ではもちろん、お孫さんやお子さんなどの家族や仲間と一緒に、無理なく、少しずつ、楽しく、体を動かしてみませんか?

ウィズまごダンス メール応募キャンペーン実施中!

「ウィズまごダンス」を踊っている写真をメールで送ると、応募者全員にアームポーチをプレゼント!!

応募締切	2022年2月4日(金)まで
プレゼント	アームポーチを参加人数分プレゼント(最大5個まで) ※無くなり次第終了となります。あらかじめご了承ください。
参加手順	1 「ウィズまごダンス」を踊っている様子の写真を撮影する。 2 with-mago@shimotsuke.jpに、氏名、住所、電話番号、踊ってみた感想をメールで送信。
応募規約	応募はメールアドレス1つにつき、1回です。プレゼントの発送は日本国内にかぎります。
その他	プレゼントはメール受信後、1か月以内に発送します。2022年3月の下野新聞に写真を掲載させていただいた場合がございましてご了承ください。応募を通じてお客様からご提供いただきました個人情報については、運営に関する以外に目的で使用するものではありません。

ウィズまごダンスの動画の見方

- スマートフォンのQRコードリーダーで左のQRを読み取ります。
- YouTubeの「栃木県チャンネル」ウィズまごダンス動画が表示されます。再生ボタンを押すと動画が流れます。

撮影例

栃木県保健福祉部 高齢対策課 TEL028-623-3148

健康長寿とちぎWEBで、フレイル予防の取り組みを詳しく紹介しています 健康長寿とちぎ フレイル予防 検索